

「コンピュータの舞台裏」

第2回

「業務への正規表現の応用」

2015-12-19

By くーへん

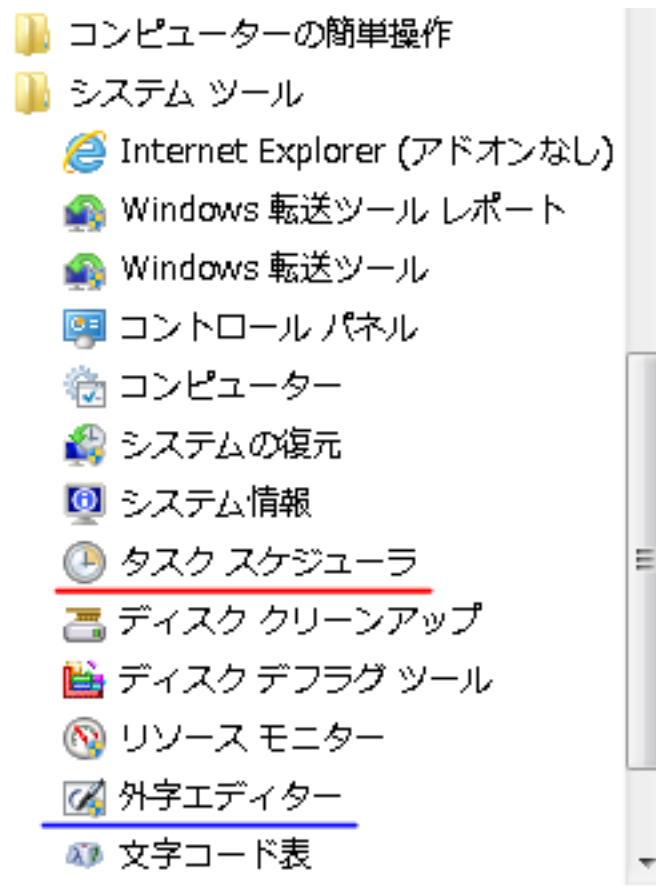
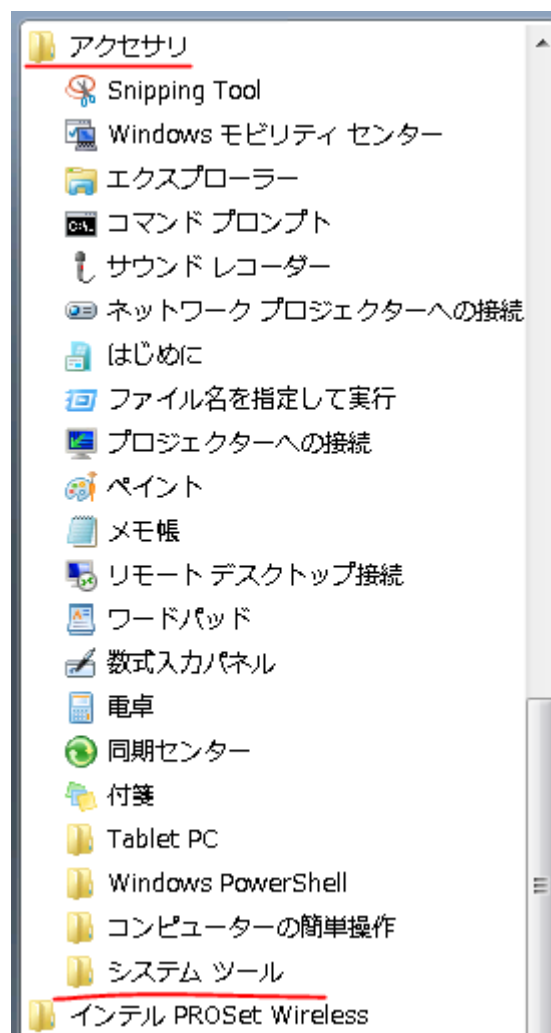
<https://github.com/flhtc1964/Computer>

(自己|事故) 紹介

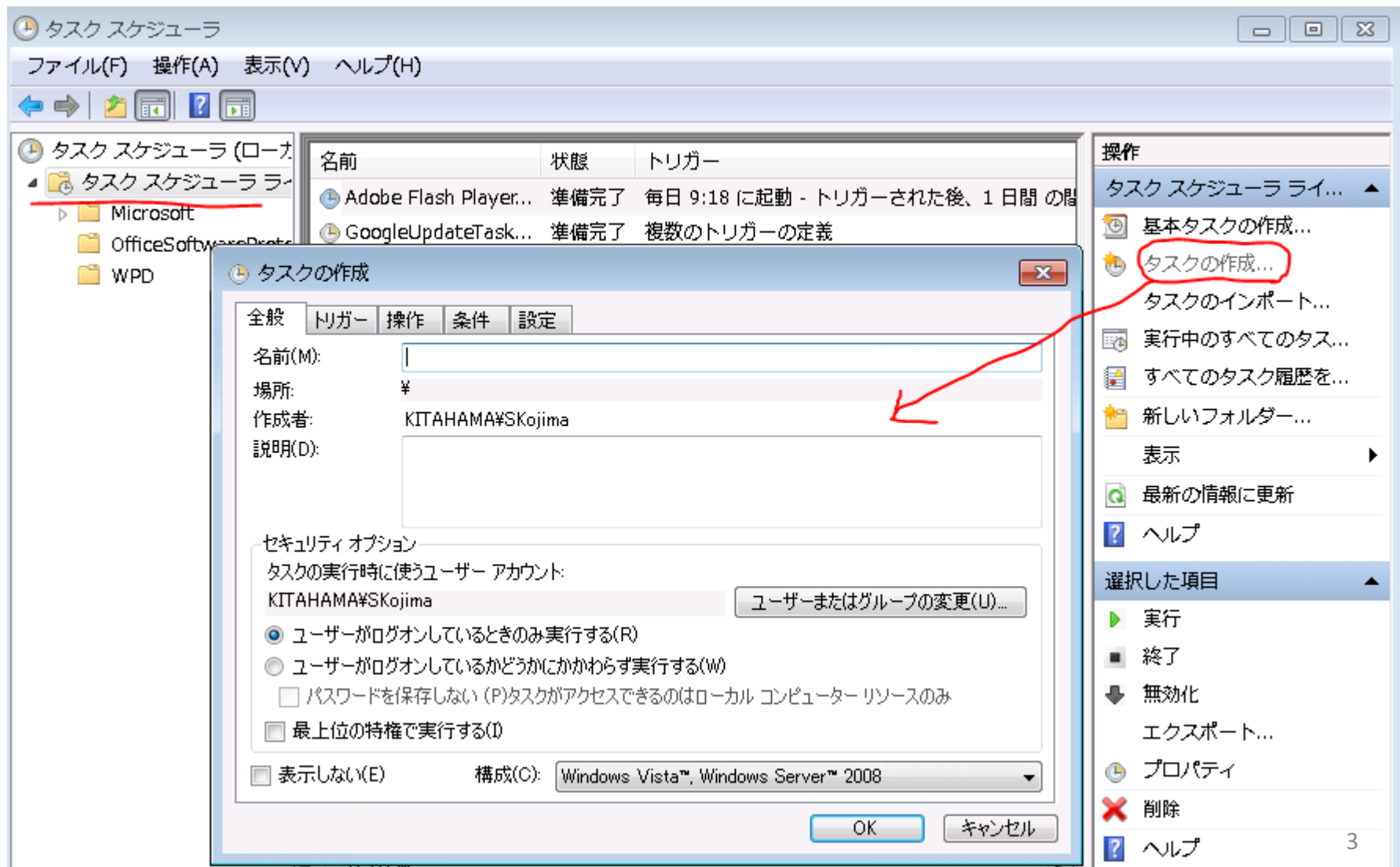
- 1964年 東京都生まれ
- N88BASIC、MSDOS、VBA、VBS 、PHP、C#
- SunOS4.1.3、FreeBSD
Cシェル、grep、gawk、sed、Perl
- UUCP、NetNews、kermit
- 2000年 4月から大阪の某法律事務所へ転職
情報システム課に所属し会社更生システム(SQL
Server + Access[adp])の作成、データベース作成
&メンテナンスと、主にOffice製品等のヘルプデ
スクを担当現在に至る

定型業務を自動化するには？

【タスク スケジューラ】で定期的に行



タスクの作成



実行ユーザ名とパスワードを指定

fnsのプロパティ (ローカル コンピューター)

全般 トリガー 操作 条件 設定 履歴

名前(M): fns

場所: ¥

作成者: KITAHAMA¥Skojima

説明(D):

セキュリティ オプション

タスクの実行時に使うユーザー アカウント:
kitahama¥skojima ユーザーまたはグループの変更(U)...

☐ ユーザーがログオンしているときのみ実行する(R)

☒ ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)

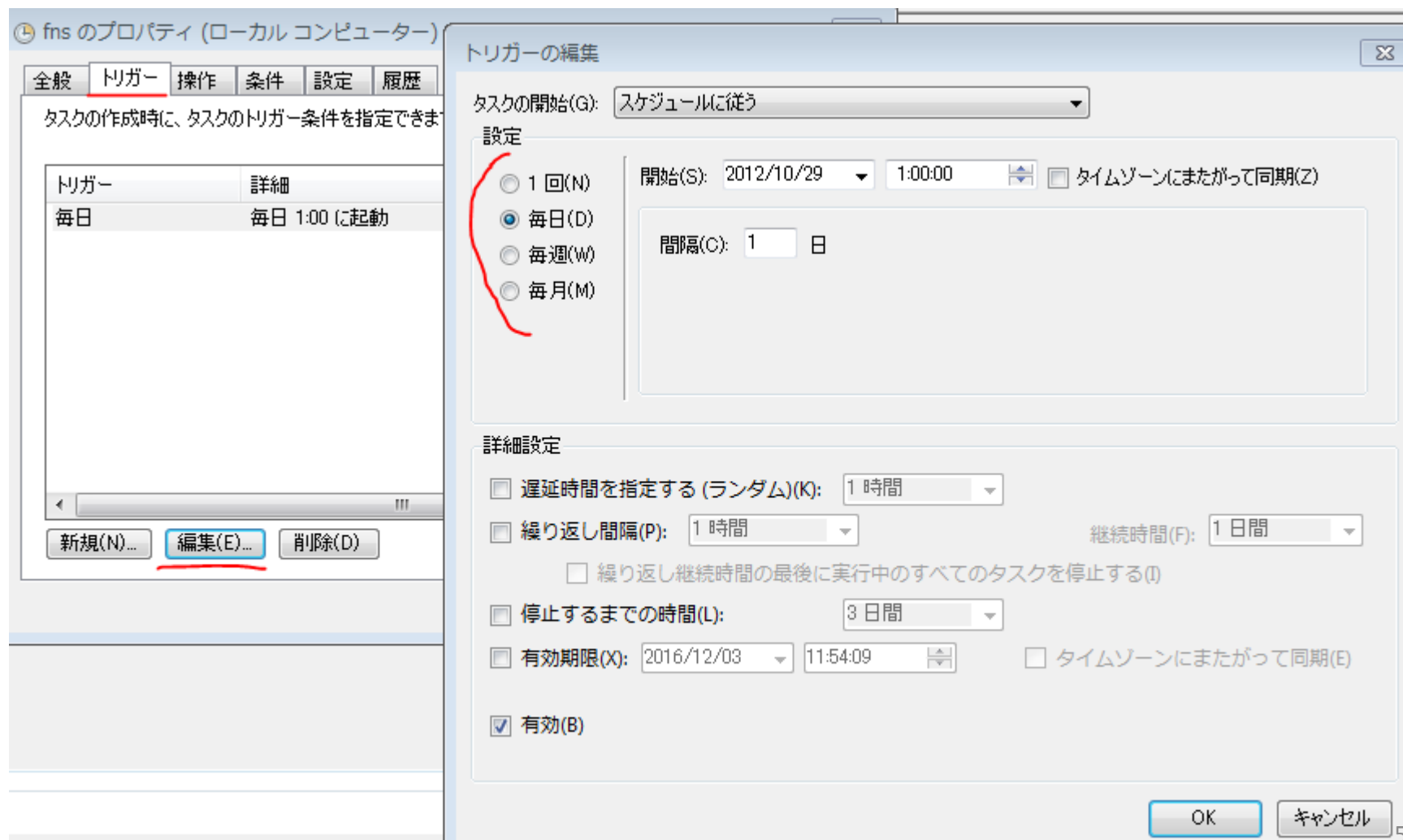
☐ パスワードを保存しない (P)タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ

☒ 最上位の特権で実行する(I)

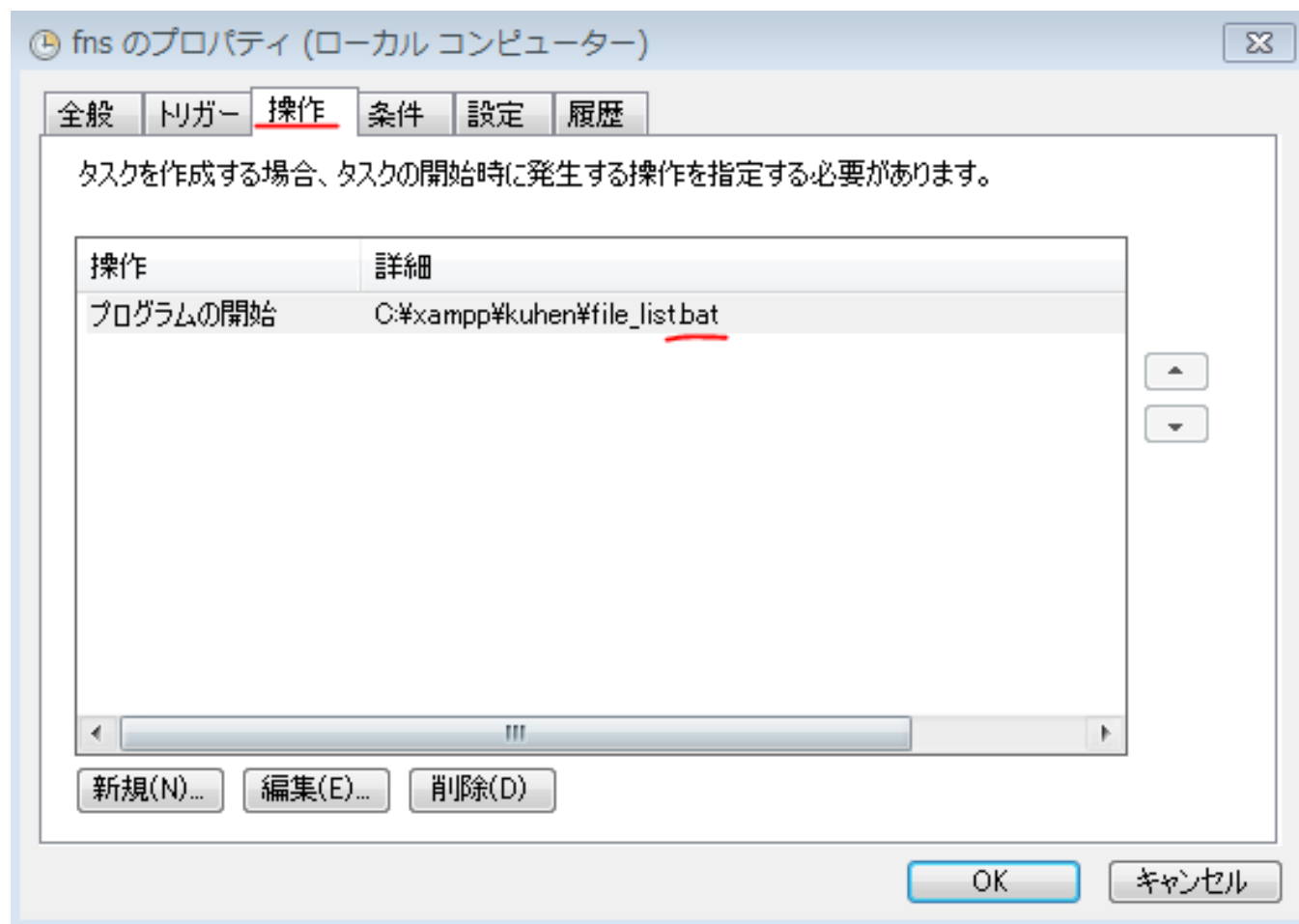
☐ 表示しない(E) 構成(C): Windows Vista™, Windows Server™ 2008

OK キャンセル

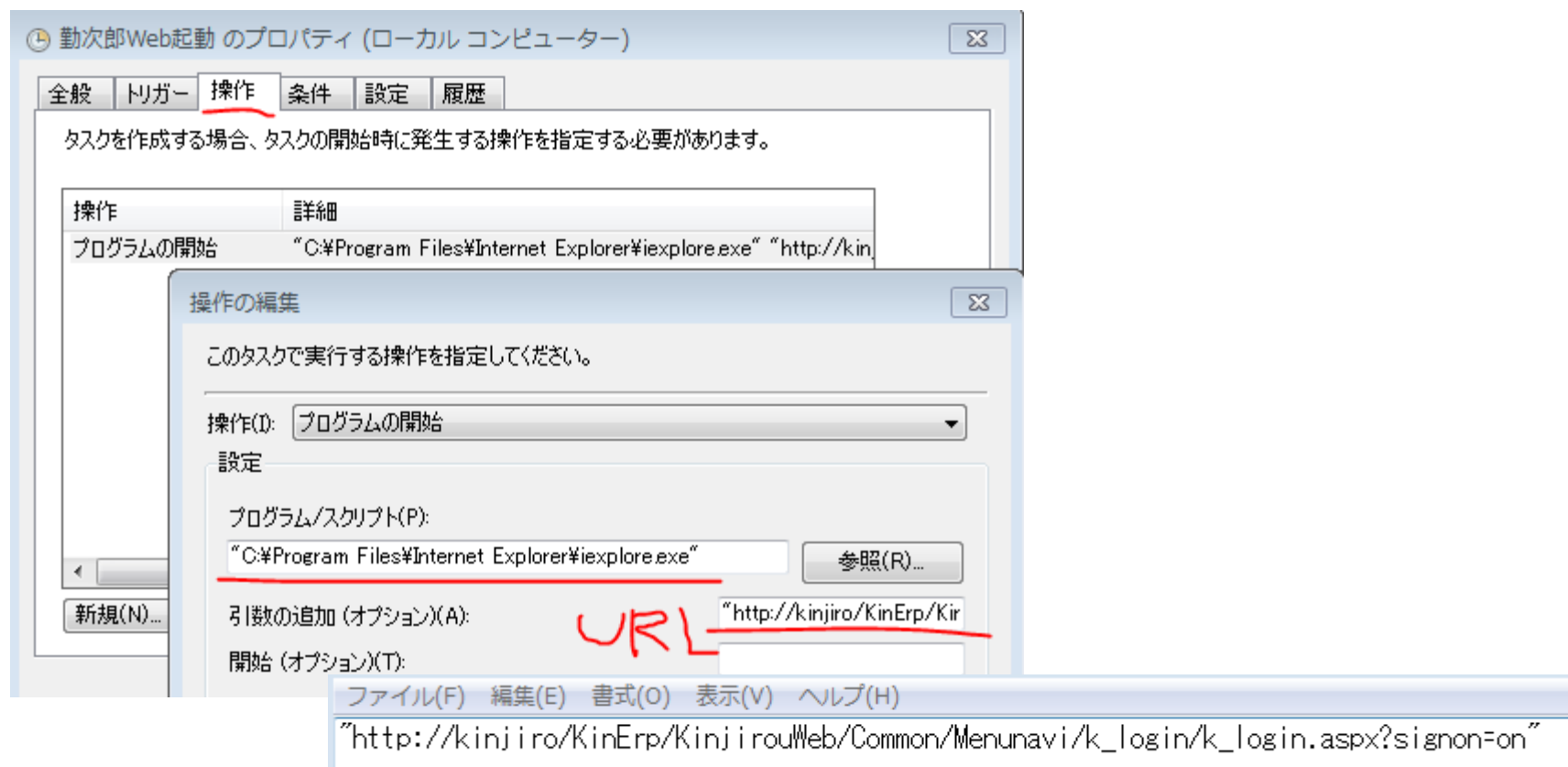
トリガー(実行時間を指定)



例えば、BATファイルを実行



例えば、決められたURLを起動



BAT(バッチ)ファイルのおさらい

- 「対話形式」でコマンドを入力し処理するルーチンワーク(定型業務)を
事前にテキストファイルへ記述しておいて
必要な時に実行させる処理方法
- テキストファイル形式の拡張子は「. BAT」
#小文字で「.bat」でも可能

【注意】 Windowsの拡張子が非表示だと
見た目はfoo.batだが
実際はfoo.bat.txtに注意！

MS-DOSなら → 「コマンドプロンプト」 【 Unixなら → 「sh(シェル)」 】

- 対話形式でコマンドを入力して処理する道具

「リダイレクト → `<` 」 手入力せずファイルで入力
`sort` コマンドの利用

「リダイレクト → `>` 」 新規ファイル作成

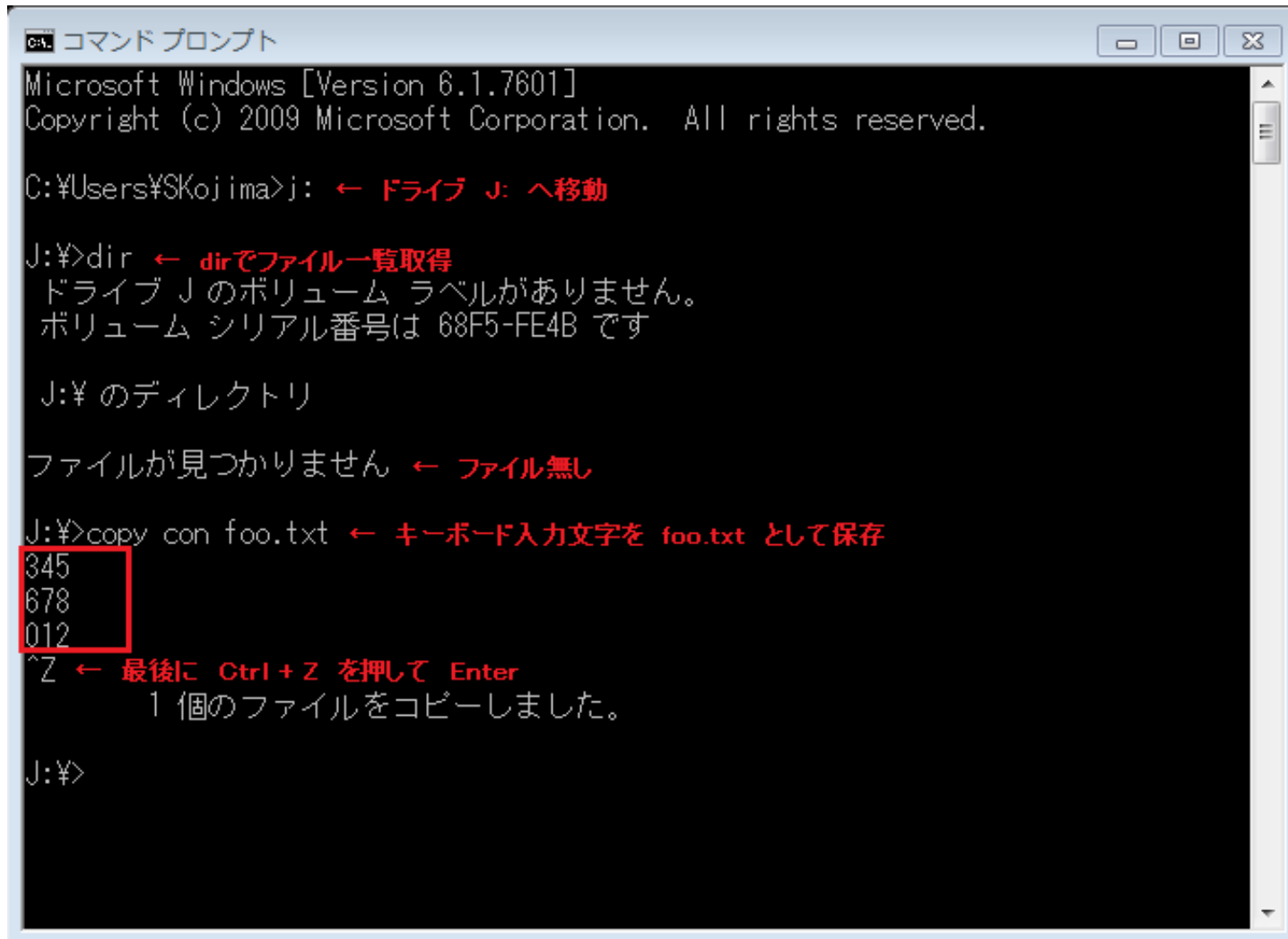
「リダイレクト → `>>` 」 ファイルへ追加

「パイプ → `|` 」 フィルター

また時間がある時に 各自でお試し下さい

- 次の頁からDOSプロンプトの使い方を説明します
- 実際に実行していくと時間が無いので説明後実際にパソコン内の指定フォルダを使いHTML形式の検索結果を作成&表示させます
- ブラウザーによってフォルダのリンクを開くことが出来ない場合がありますので、今回はIEを使ってデモをします

コマンドプロンプトでテキスト型 データファイルを作成してみる



```
C:\ コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Skojima>j: ← ドライブ J: へ移動

J:>dir ← dirでファイル一覧取得
ドライブ J のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:>
J: のディレクトリ

ファイルが見つかりません ← ファイル無し

J:>copy con foo.txt ← キーボード入力文字を foo.txt として保存
345
678
012
^Z ← 最後に Ctrl + Z を押して Enter
1 個のファイルをコピーしました。

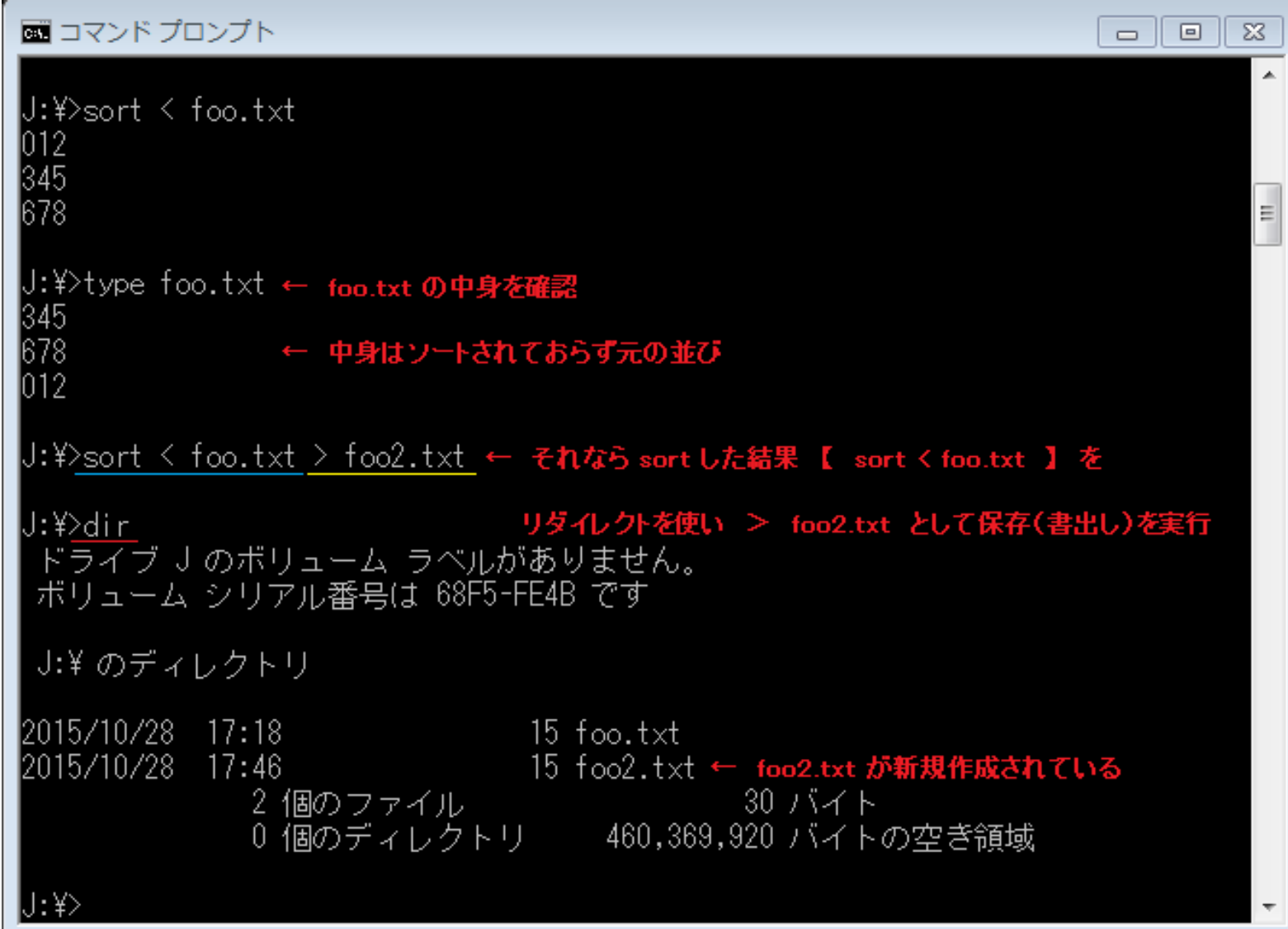
J:>
```

「リダイレクト→ < 」 ファイルをプログラムに渡す sort コマンドの利用

```
012  
^Z  
1 個のファイルをコピーしました。 ← 1個のファイルが作成された  
J:¥>dir ← 再度 dir でファイル一覧取得  
ドライブ J のボリューム ラベルがありません。  
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です  
  
J:¥ のディレクトリ  
  
2015/10/28  17:18                15 foo.txt ← foo.txt が作成されている  
                1 個のファイル                15 バイト  
                0 個のディレクトリ            460,369,920 バイトの空き領域  
  
J:¥>type foo.txt ← type で中身を確認  
345  
678  
012  
  
J:¥>sort < foo.txt ← sort に対して foo.txt の中身をリダイレクト(データを送り込む)  
012  
345 ← 順序が昇順になって【 表示 】された  
678  
J:¥>
```

sort < foo.txt > foo2.txt

「リダイレクト→ > 」ソート結果を新規ファイルとして保存



```

C:\> コマンド プロンプト

J:\> sort < foo.txt
012
345
678

J:\> type foo.txt ← foo.txt の中身を確認
345
678
012
← 中身はソートされておらず元の並び

J:\> sort < foo.txt > foo2.txt ← それなら sort した結果 【 sort < foo.txt 】 を
リダイレクトを使い > foo2.txt として保存(書出し)を実行

J:\> dir
ドライブ J のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:\> のディレクトリ

2015/10/28 17:18          15 foo.txt
2015/10/28 17:46          15 foo2.txt ← foo2.txt が新規作成されている
                2 個のファイル                30 バイト
                0 個のディレクトリ          460,369,920 バイトの空き領域

J:\>
```

J:¥ のディレクトリ

2015/10/28 17:18 15 foo.txt

2015/10/28 17:46 15 foo2.txt

2 個のファイル 30 バイト

0 個のディレクトリ 460,369,920 バイトの空き領域

J:¥>type foo*.txt ← type でワイルドカードを使い

foo.txt foo*.txt

を指定 foo.txt と foo2.txt が表示された

345

678

012

foo2.txt

012 ← foo2.txt はソート後のデータが保存されている

345

678

J:¥>

foo2.txt

012

345

678

J:¥>copy foo*.txt foo3.txt ← コピーしろ

foo.txt

foo*.txt にマッチするファイルをまとめた後

foo2.txt

foo3.txt として作成

1 個のファイルをコピーしました。

J:¥>dir

ドライブ J のボリューム ラベルがありません。

ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:¥ のディレクトリ

2015/10/28 18:08

15 foo.txt

2015/10/28 17:46

15 foo2.txt

2015/10/28 18:08

31 foo3.txt ← foo3.txt が作成された

3 個のファイル

61 バイト

0 個のディレクトリ

460,369,920 バイトの空き領域

J:¥>type foo3.txt ← foo3.txt の中身を確認

345
678
012
012
345
678

J:¥>copy foo2.txt + foo.txt foo4.txt ← 結合するファイルの順番を + で指定する
foo2.txt
foo.txt

1 個のファイルをコピーしました。

J:¥>dir

ドライブ J のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:¥ のディレクトリ

2015/10/28	18:08	15	foo.txt	
2015/10/28	17:46	15	foo2.txt	
2015/10/28	18:08	31	foo3.txt	
2015/10/28	18:14	31	foo4.txt	← foo4.txt が作成された
		4 個のファイル	92 バイト	
		0 個のディレクトリ	460,369,920 バイトの空き領域	

foo.txt

1 個のファイルをコピーしました。

J:¥>dir

ドライブ J のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:¥ のディレクトリ

2015/10/28	18:08	15	foo.txt
2015/10/28	17:46	15	foo2.txt
2015/10/28	18:08	31	foo3.txt
2015/10/28	18:14	31	foo4.txt
		4 個のファイル	92 バイト
		0 個のディレクトリ	460,369,920 バイトの空き領域

J:¥>type foo4.txt ← foo4.txt の中身を確認

012 ← ソートされている foo2.txt が先頭になっている

345

678

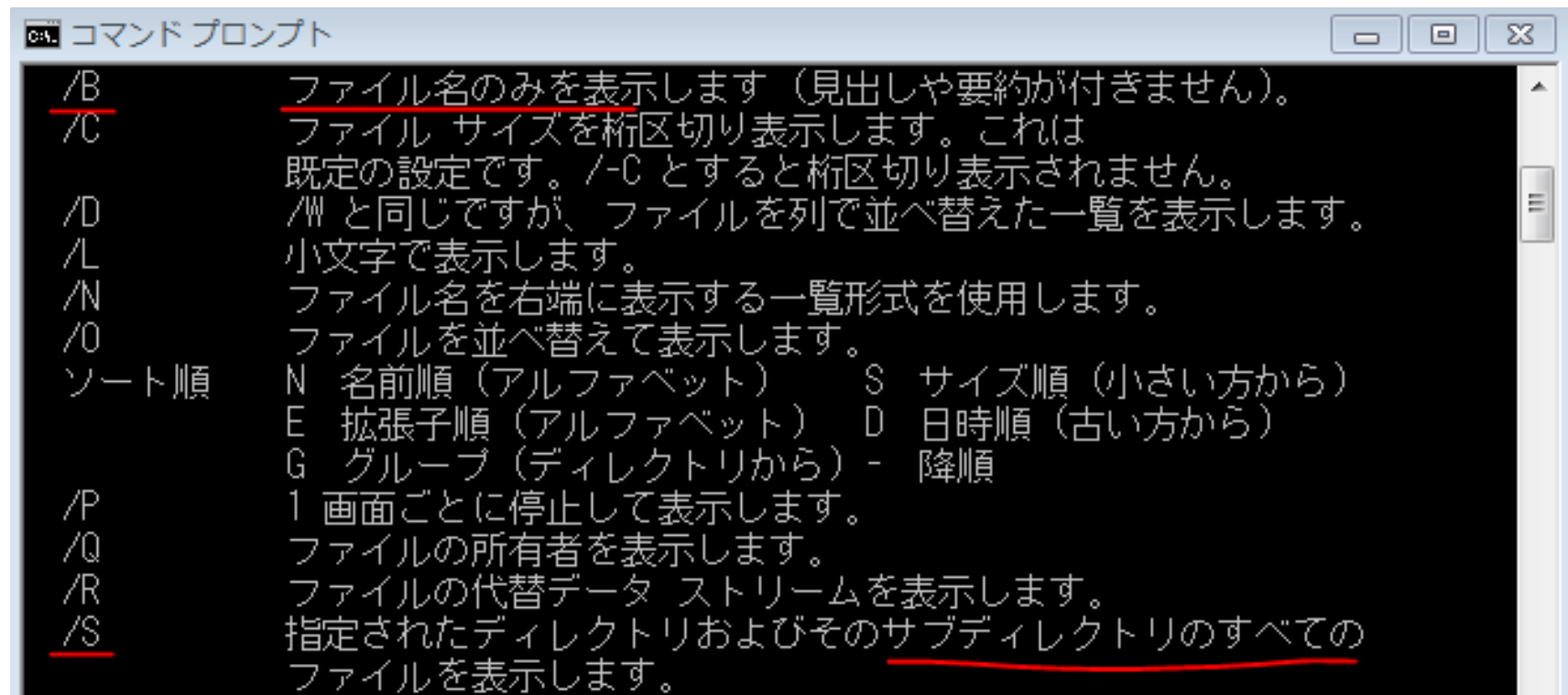
345

678

012

J:¥>

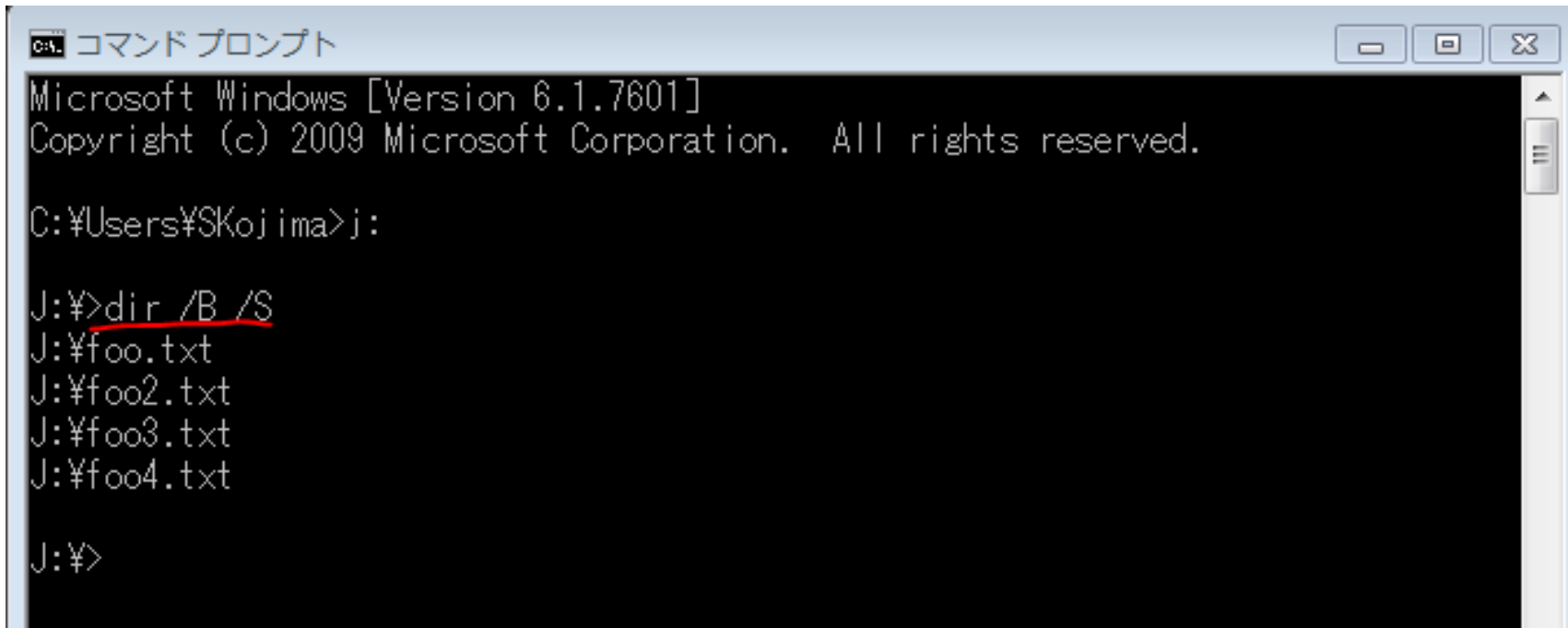
Dir /? コマンドヘルプを表示



コマンドプロンプト

```
/B      ファイル名のみを表示します（見出しや要約が付きません）。  
/C      ファイル サイズを桁区切り表示します。これは既定の設定です。  
          /-C とすると桁区切り表示されません。  
/D      /W と同じですが、ファイルを列で並べ替えた一覧を表示します。  
/L      小文字で表示します。  
/N      ファイル名を右端に表示する一覧形式を使用します。  
/O      ファイルを並べ替えて表示します。  
ソート順  N 名前順（アルファベット）      S サイズ順（小さい方から）  
          E 拡張子順（アルファベット）    D 日時順（古い方から）  
          G グループ（ディレクトリから） - 降順  
/P      1 画面ごとに停止して表示します。  
/Q      ファイルの所有者を表示します。  
/R      ファイルの代替データ ストリームを表示します。  
/S      指定されたディレクトリおよびそのサブディレクトリのすべての  
          ファイルを表示します。
```

dir /B /S コマンドでファイル一覧



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

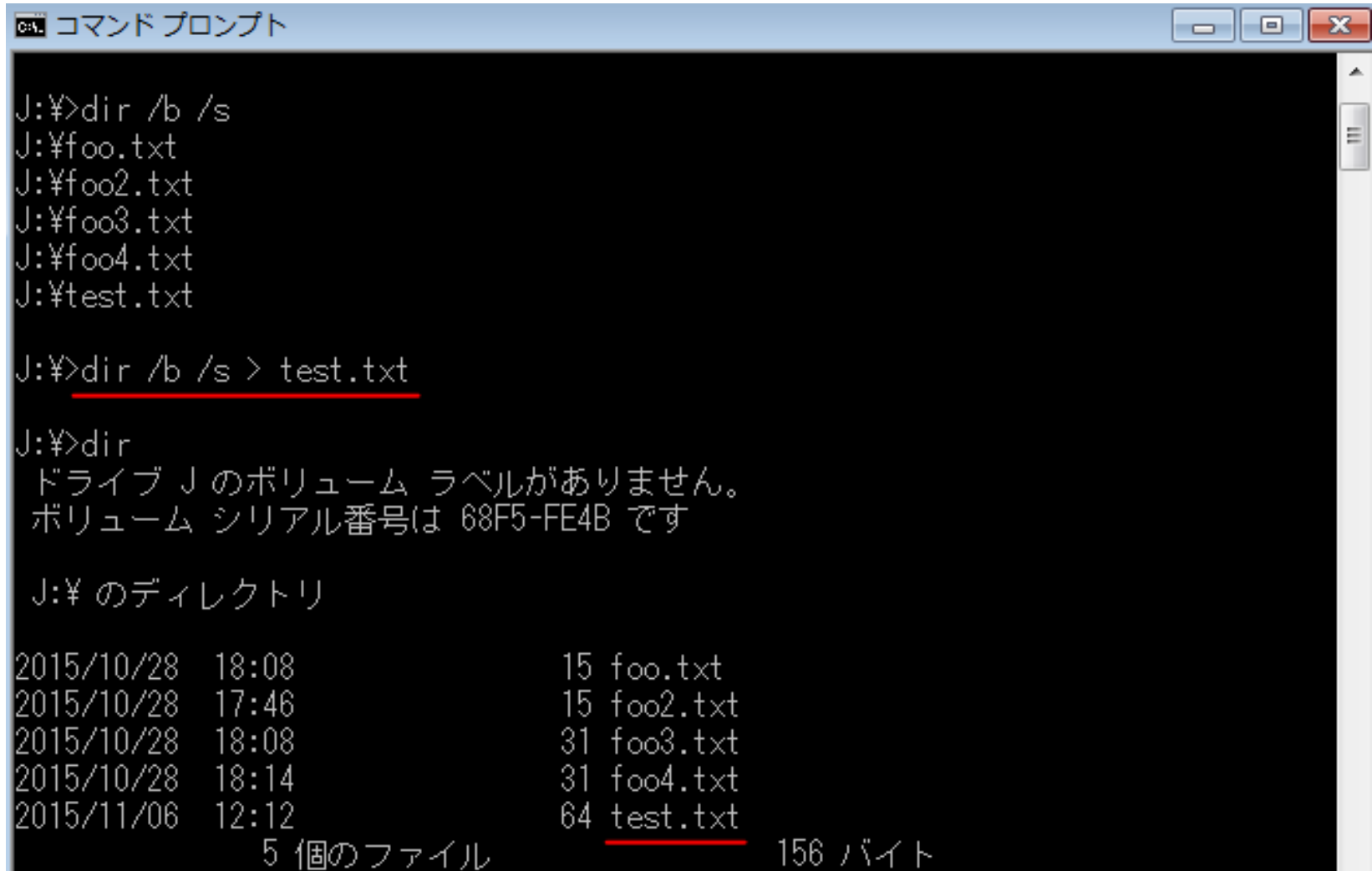
C:\Users\S\Kojima>j:

J:>dir /B /S
J:\foo.txt
J:\foo2.txt
J:\foo3.txt
J:\foo4.txt

J:>
```

「リダイレクト→ > 」

dir /b /s > test.txt ファイル新規作成



```
C:\ コマンドプロンプト

J:\>dir /b /s
J:\foo.txt
J:\foo2.txt
J:\foo3.txt
J:\foo4.txt
J:\test.txt

J:\>dir /b /s > test.txt

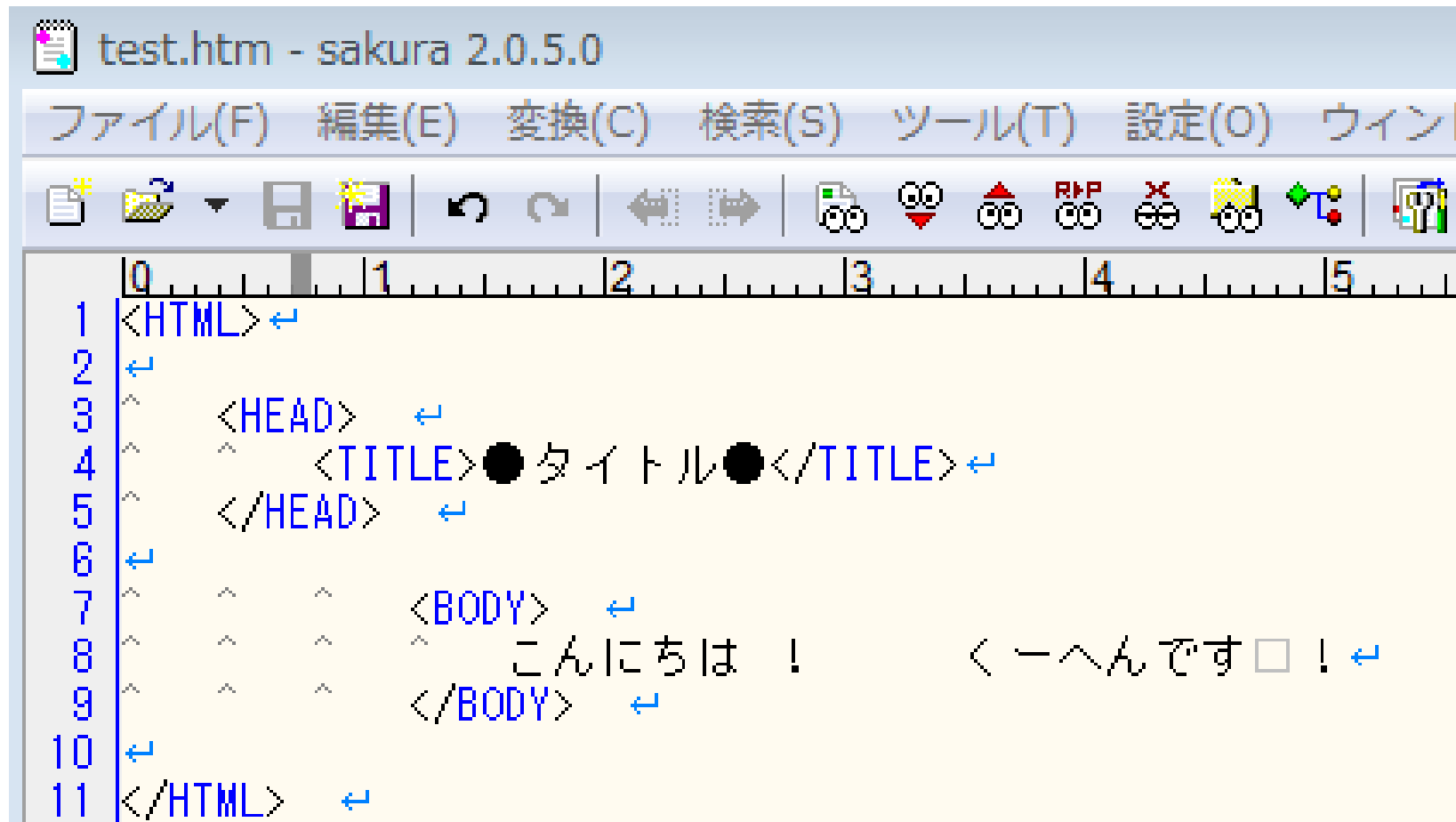
J:\>dir
ドライブ J のボリューム ラベルがありません。
ボリューム シリアル番号は 68F5-FE4B です

J:\ のディレクトリ

2015/10/28  18:08                15 foo.txt
2015/10/28  17:46                15 foo2.txt
2015/10/28  18:08                31 foo3.txt
2015/10/28  18:14                31 foo4.txt
2015/11/06  12:12                64 test.txt

                5 個のファイル                156 バイト
```

作成したtest.txtを使い最低限のHTML形式ファイルを自動作成する



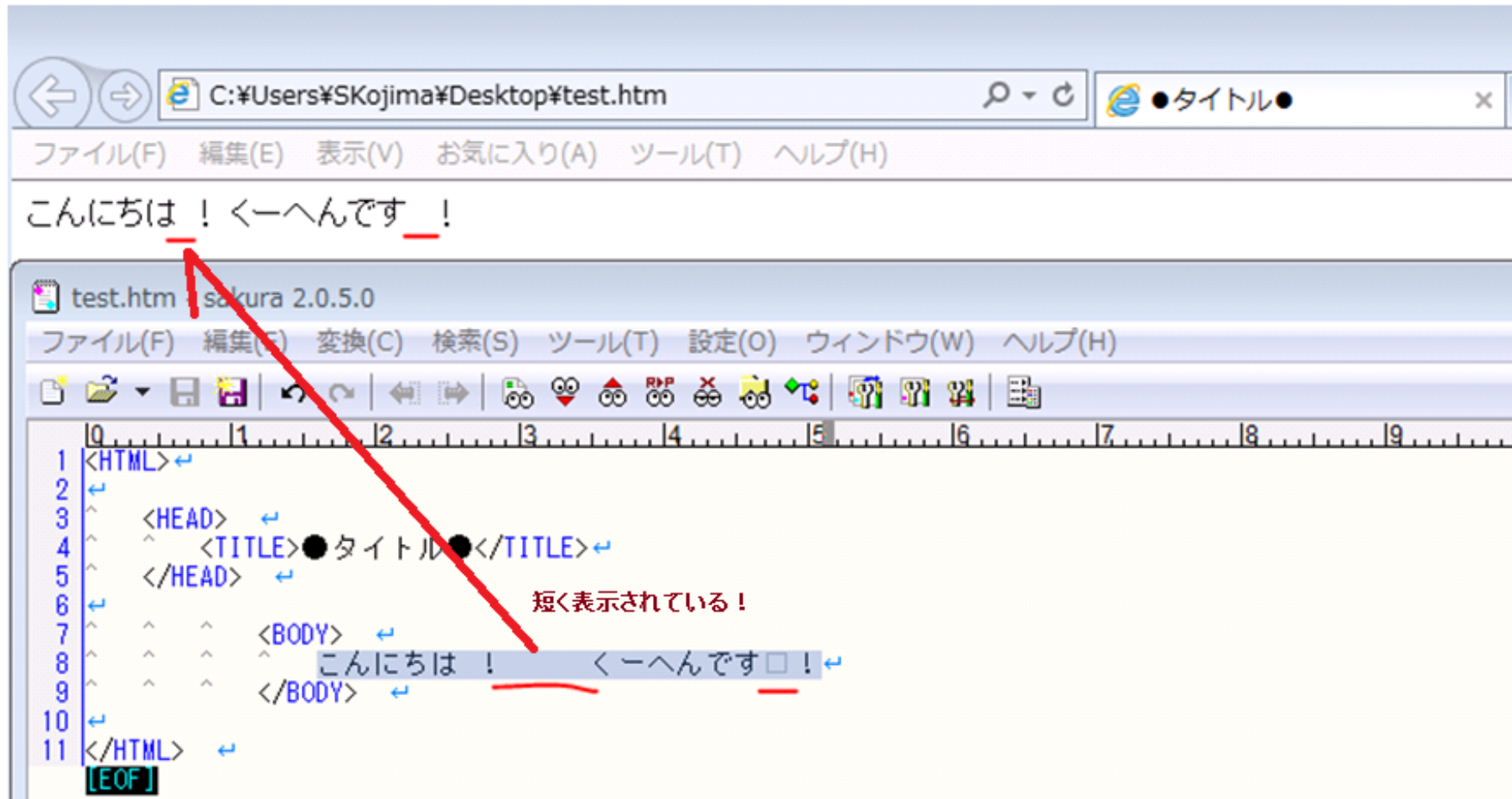
The screenshot shows the Sakura 2.0.5.0 text editor window titled "test.htm - sakura 2.0.5.0". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "変換(C)", "検索(S)", "ツール(T)", "設定(O)", and "ウィンドウ(W)". The toolbar contains various icons for file operations, editing, and viewing. The editor area displays the following HTML code:

```
1 <HTML> ←
2 ←
3 ^   <HEAD>   ←
4 ^   ^   <TITLE>●タイトル●</TITLE> ←
5 ^   </HEAD> ←
6 ←
7 ^   ^   ^   <BODY>   ←
8 ^   ^   ^   ^   こんにちは ！       くーへんです□！ ←
9 ^   ^   ^   </BODY> ←
10 ←
11 </HTML>  ←
```

<HTML>で始まり </HTML>で終わる

- 取りあえずメモ帳で記述可能
- <タグ>文字列</タグ>で文字を修飾
例: 文字の**大きさ**、文字の**色**等
- 高度になると使用する文字等指定
-
タグを入れないと改行せず表示される
基本ワープロと同じく文字は連続表示
- 使用するブラウザーにより、表示や動作が微妙に違う

半角スペースは無視される罣



Unix(ユニックス) OS

- Windows OSが世に出る前は
Unix(ユニックス)という
オペレーティングシステム(OS)が動く
サーバがインターネット上で複数台稼働
しており利用者はそのサーバにTelnetコマンドでサー
バにログインし、sh(シェル)という
対話型のコマンドを使ってメールやNetNews
そしてテキストデータ処理等を行っていた
<https://ja.wikipedia.org/wiki/UNIX>
- Unixのsh(シェル)とは、WindowsのMS-DOSの
「コマンドプロンプト」だと思ってください

正規表現 (せいきひょうげん)

- 正規表現は、**Unixのお陰で一般化**された
- 大量のテキストデータに対し統一した検索ルール(**パターンマッチ**)が必要となり

一括検索:	grep(egrep)
一括(検索 置換)、一括削除:	sed
一括レコード単位処理:	awk(gawk)
C言語、sed、awk、sh(シェル)の 機能を取り入れたプログラム言語: Perl	

これらは「正規表現」を使って処理をしている
最近ではWindowsで動くエディタの検索or置換時に「正規表現」の利用が可能



正規表現メモ

<http://www.kt.rim.or.jp/~kbbk/regex/regex.html>

• 2012年8月現在の 「正規表現」使用情報

正規表現メモ

最終更新日 2012年8月24日

正規表現は使い慣れれば便利なものですが、ツールによって使える正規表現演算子(メタキャラクタ)に違いがあったりして戸惑うこともあります。そこで、正規表現を扱うツールの代表的なものをいくつか選び、そこで使われている正規表現演算子をまとめてみました。

正規表現入門者/初心者の方へ

正規表現のチュートリアルが、[perlの正規表現チュートリアル](#)にあります。Perl5.8のドキュメントですが、一般的な入門にも使えますと思います。

Table of contents

1. [grep](#)で使える正規表現
2. [egrep](#)で使える正規表現
3. [sed](#)で使える正規表現
4. [awk](#)で使える正規表現
5. [Perl](#)で使える正規表現
6. [Python](#)で使える正規表現
7. [Ruby](#)で使える正規表現
8. [gawk 3.0\(以降\)](#)で使える正規表現
9. [Tcl 8.2.3\(以降\)](#)で使える正規表現
10. [PCRE](#)で使える正規表現
11. [PHP](#)で使える正規表現([mb_ereg](#))
12. [.NET Framework](#)で使える正規表現
13. [Java\(1.4以降\)](#)で使える正規表現
14. [POSIX 1003.2](#)での正規表現について
15. [各正規表現演算子の説明](#)
16. [各エスケープシーケンスの説明](#)
17. [各処理系正規演算子一覧表](#)
18. [ある文字列を含まない正規表現](#)
19. [リンク](#)
20. [用語集](#)
21. [参考文献](#)

Windowsで動く onigsed.exe(20091031版)

GNU sed 4.1.5 の日本語 Windowsへの移植(というほどたいしたことはしていない)です。

cygwinに付属のGNU sedがMBCS対応していないので作業しました。

VC++ 7.1でコンパイルしています。特にDLLは必要ありません。

また、正規表現エンジンとして鬼車(2.5.0)を組み込んでおり、オプション指定によりPerl互換の正規表現を使うことができます。

できるだけオリジナルと同じ振る舞いをするように努力しましたが、どこかに抜けがあるかもしれません(特に改行の扱いに関して)。

漢字コードとしてshiftjis、euc-jp、utf-8 が使えます。使用するときはコマンドラインオプションで

- shiftjis -Wctype=SJIS または --ctype=SJIS (デフォルト)
- euc-jp -Wctype=EUC または --ctype=EUC
- utf-8 -Wctype=UTF8 または --ctype=UTF8

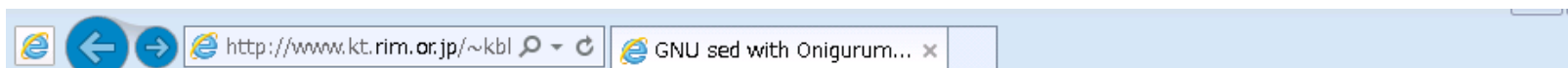
を指定します。マルチバイト処理をオフにしたい場合には

-Wctype=ASCII または --ctype=ASCII

を指定します。

readme ja より抜粋

http://www.kt.rim.or.jp/~kbbk/sed/



GNU sed with Oniguruma (Onigsed)とは?

正規表現エンジンとして、[鬼車](#)を組み込んだ sed です。オプション指定により、POSIX EREや Perl5互換の正規表現を使うことができます。

ダウンロードリンク

- [Onigsed 2009年10月31日バージョン](#)
md5 aae0a510dee4de6acca29cc9c86ca4a5 *onigsed-20091031.zip
sha1 2738e55c05883c334c66dcb264b5ab59202bf8ca onigsed-20091031.zip
- [Onigsed 2009年1月1日バージョン](#)
9728a92c58ef001984a9fed51095535f *onigsed-20090101.zip
0b93c97ba2781a44800e1d888239ac67ec54c62a5f3485196be7d757ebaaf873 *onigsed-20090101.zip
- [鬼車を使っていないバージョン\(2009/10/5\)](#)
md5 3fd753202cb5dbc565eeba29abd049d *sed-mbcs-win32-20091004.zip
sha1 9f4f44f67cb1fa6ad9c95fa3ac232be625b36f6 sed-mbcs-win32-20091004.zip
[\(2009/5/25\)版](#)
949ec827c9383d9ce60c947115db0cdf *sed-mbcs-win32-20090525.zip
8bdc396588ff1e978562e53fbff22e63d5703903 sed-mbcs-win32-20090525.zip

以下、readme.jaより。

・これはなに?
GNU sed 4.1.5 の日本語 Windowsへの移植(というほどたいしたことはしていない)です。cygwinに付属のGNU sedがMBCS対応していないので作業しました。VC++ 7.1でコンパイルしています。特にDLLは必要ありません。また、正規表現エンジンとして鬼車(2.5.0)を組み込んでおり、オプション指定によりPerl5互換の正規表現を使うことができます。できるだけオリジナルと同じ振る舞いをするように努力しましたが、どこかに抜けがあるかもしれません(特に改行の扱いに関して)。

Onigsedで → テキスト一括操作 どんなルールがあるのか「メタ文字」

- 行頭 → ^
- 行末 → \$
- 空白行 → ^\$
- 該当データ削除 → /正規表現/d
- onigsed.exe -e “/^\$/d” foo.txt | more

Onigsedで → テキスト一括操作 どんなルールがあるのか「メタ文字」

- 行頭 → ^
- 行末 → \$
- 空白行 → ^\$
- 該当データ置換 → s/正規表現/置換後/g
- onigsed.exe -e “s/^\$/空/g” foo.txt | more

Onigsedで → テキスト一括操作 「g」フラグは2個目以降も置換する

- 該当データ置換 → s/正規表現/置換後/g

```
J:¥>onigsed.exe -e "s/o/p/" test.txt
J:¥fpo.txt      ←最初に見つけた1個だけ置換
J:¥fpo2.txt
J:¥fpo3.txt
J:¥fpo4.txt
J:¥test.txt

J:¥>onigsed.exe -e "s/o/p/g" test.txt
J:¥fpp.txt      ←2個目以降も置換するのが
J:¥fpp2.txt     【 g 】フラグ
J:¥fpp3.txt
J:¥fpp4.txt
J:¥test.txt

J:¥>
```


Onigsedで→テキスト一括操作 【 “ ” 】をパターン内で使えないエラー

- 行全体を置換

`s/^.*&<P>/g`

```
J:¥>onigsed.exe -e "s/^.*<A HREF=&>&<P>/g" test.txt
<A HREF=J:¥foo.txt>J:¥foo.txt<P>
<A HREF=J:¥foo2.txt>J:¥foo2.txt<P>
<A HREF=J:¥foo3.txt>J:¥foo3.txt<P>
<A HREF=J:¥foo4.txt>J:¥foo4.txt<P>
<A HREF=J:¥test.txt>J:¥test.txt<P>
```

↓ ↓ 【 “ ” 】が指定出来ずエラーが出る

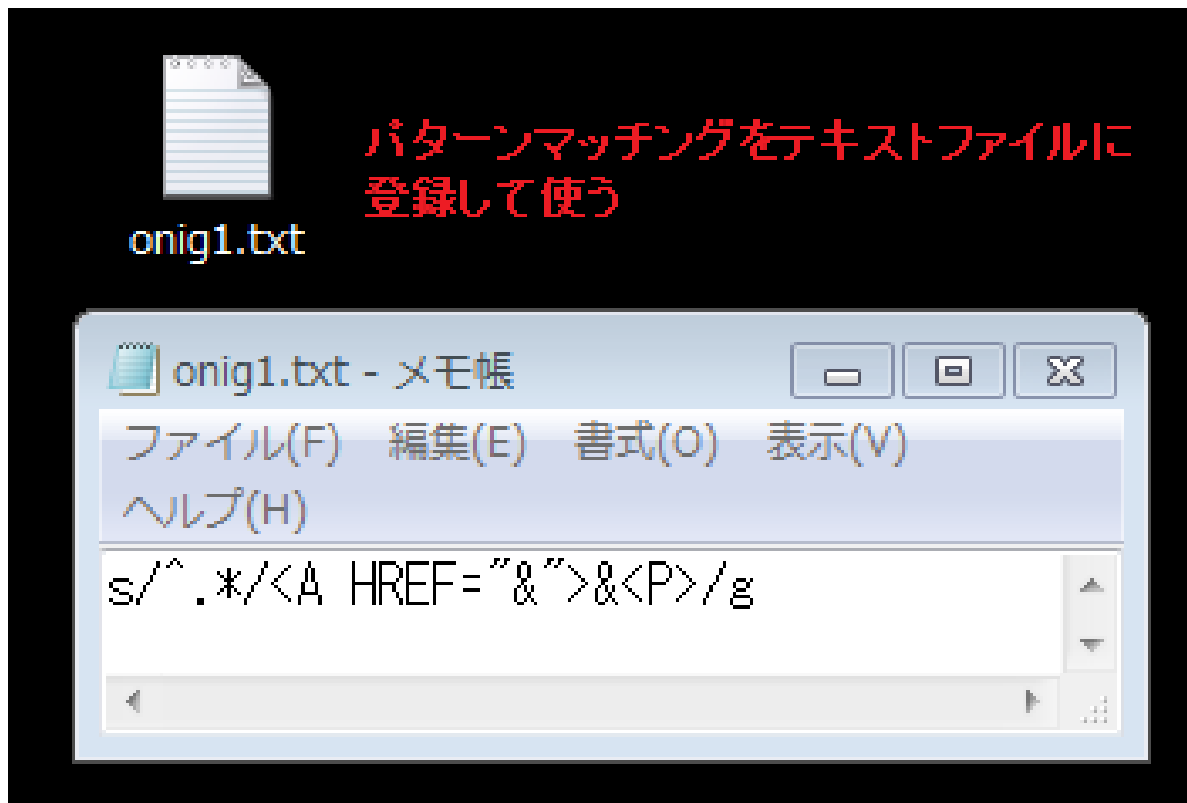
```
J:¥>onigsed.exe -e "s/^.*<A HREF="&">&<P>/g" test.txt
onigsed.exe: -e expression #1, char 14: unterminated `s' command
ファイル名、ディレクトリ名、またはボリューム ラベルの構文が間違っています。

J:¥>
```

Onigsedで→テキスト一括操作 対策：外部ファイルに記述しておく

- 行全体を置換

`s/^.*/&<P>/g`



Onigsedで→テキスト一括操作

onigsed.exe **-f** 使用ファイル名

- **行全体**を置換

`s/^.*/&<P>/g`

```
J:¥>onigsed.exe -f onigl.txt test.txt
<A HREF="J:¥foo.txt">J:¥foo.txt<P>
<A HREF="J:¥foo2.txt">J:¥foo2.txt<P>
<A HREF="J:¥foo3.txt">J:¥foo3.txt<P>
<A HREF="J:¥foo4.txt">J:¥foo4.txt<P>
<A HREF="J:¥test.txt">J:¥test.txt<P>

J:¥>
```

Onigsedで→テキスト一括操作 全行に対して一括処理

- 全行に改行を追加する置換

`s/^.*/&%n/`

```
J:¥>onigsed.exe -e "s/^.*/&%n/" test.txt
J:¥foo.txt

J:¥foo2.txt

J:¥foo3.txt

J:¥foo4.txt

J:¥test.txt

J:¥>
```

メタ文字の【 * 】は直前文字に 0回以上繰り返された文字列にマッチ

- /Go*gle/

マッチする

0回以上 → Ggle
1回以上 → Gogle

マッチしない

Gpgle
Gopgle

- 出典元
<http://www.rubylife.jp/regexp/repeat/index2.html>

メタ文字の【 + 】は 直前文字に1回以上マッチ

- /Go+gle/

マッチする

Gogle

Google

マッチしない

Ggle

Gopgle

- 出典元
<http://www.rubylife.jp/regexp/repeat/index3.html>

メタ文字の【 . 】は 改行を除く、任意の一文字にマッチ

- /ab.cd/

マッチする

ab^hcd

ab⁴cd

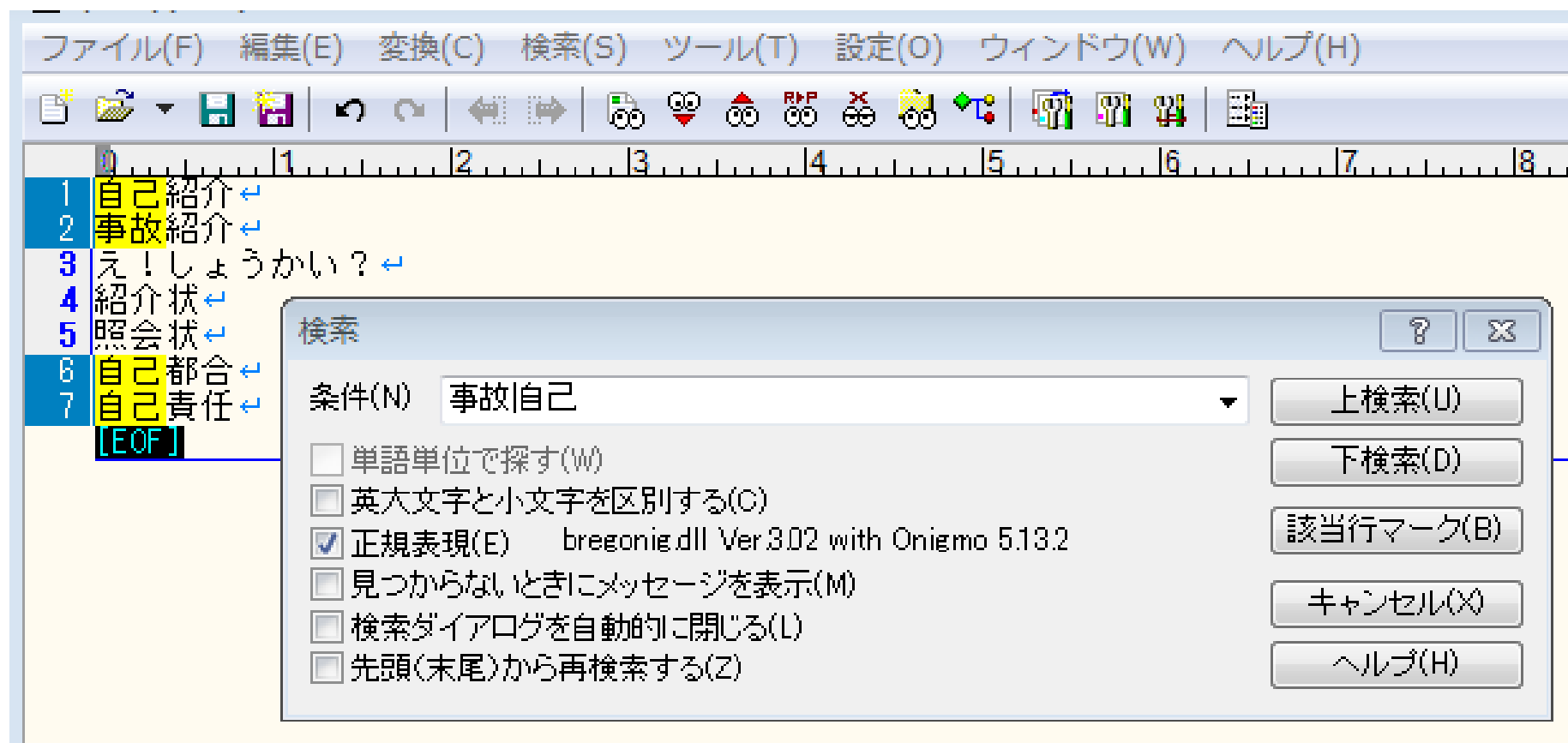
マッチしない

abcd

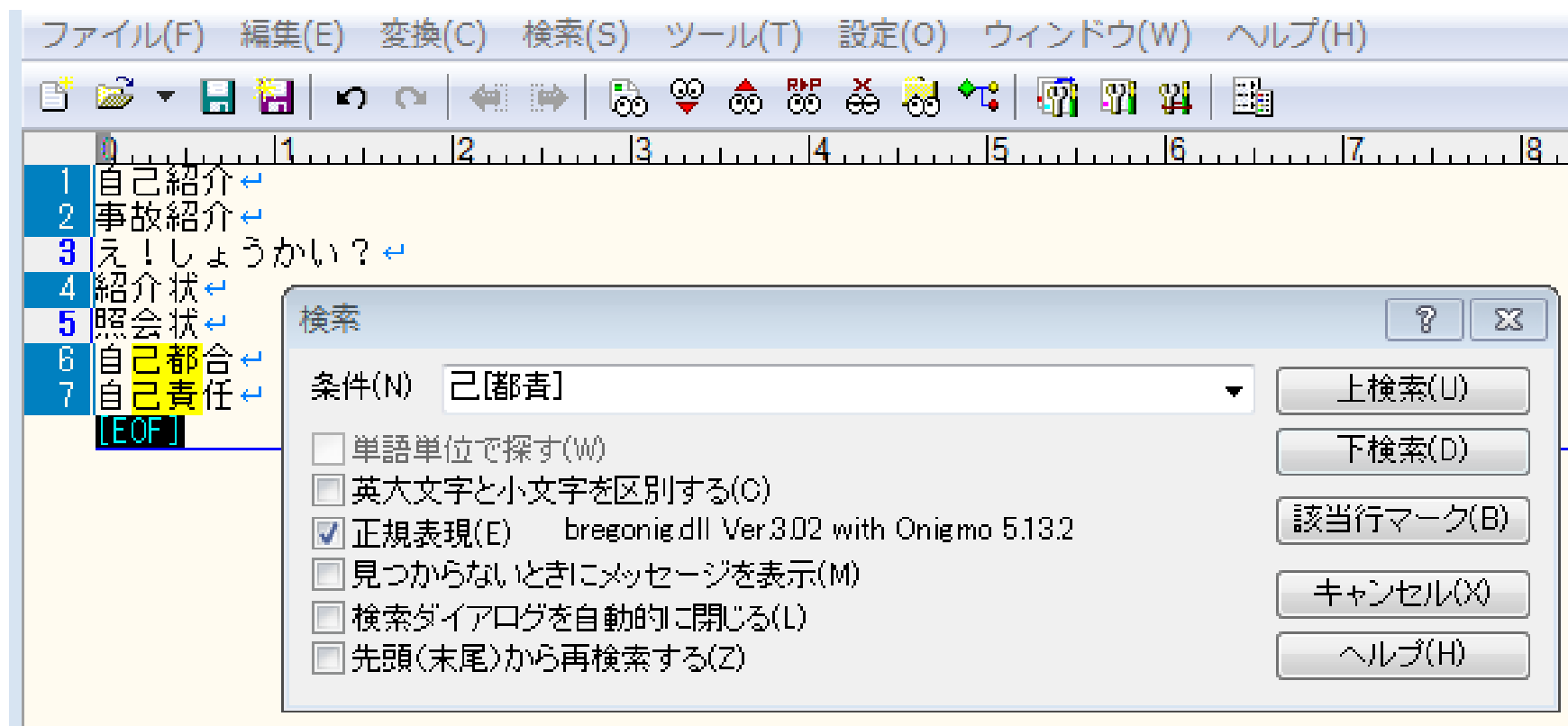
abppcd

- 出典元
<http://www.rubylife.jp/regexp/repeat/index1.html>

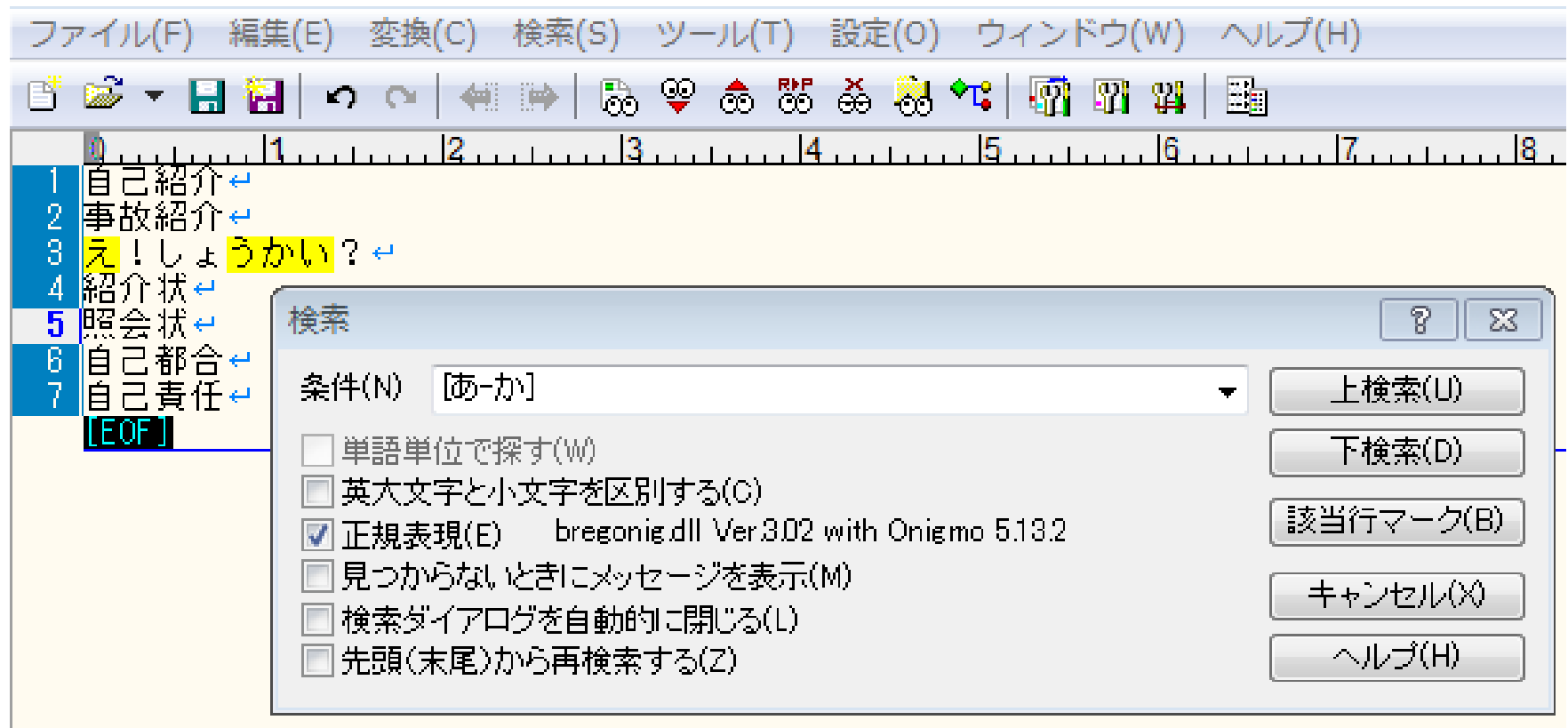
事故|自己（どちらか）



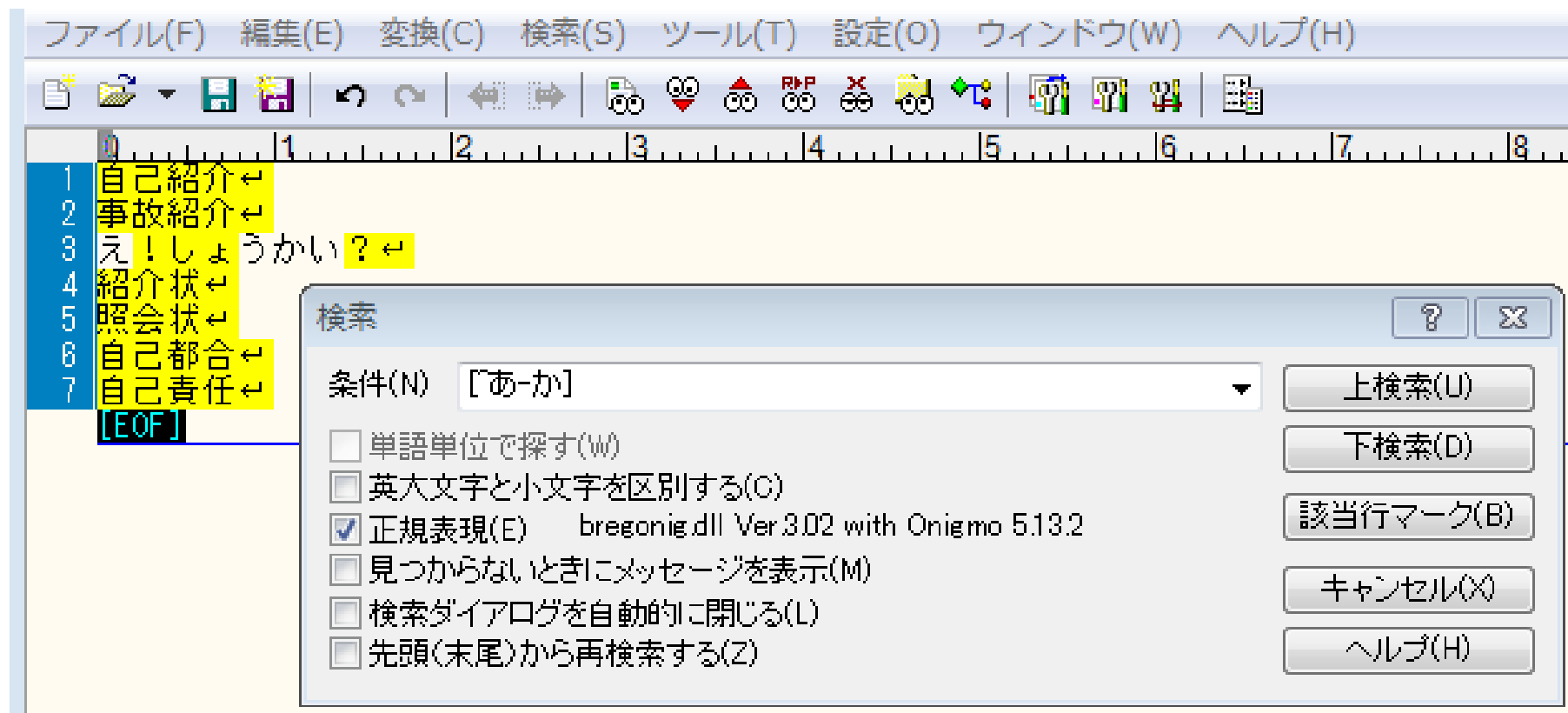
己[都責]（都か責のどれか）



[あ-か] (あ～か迄)



[^あ-か]（あ～か迄 以外）

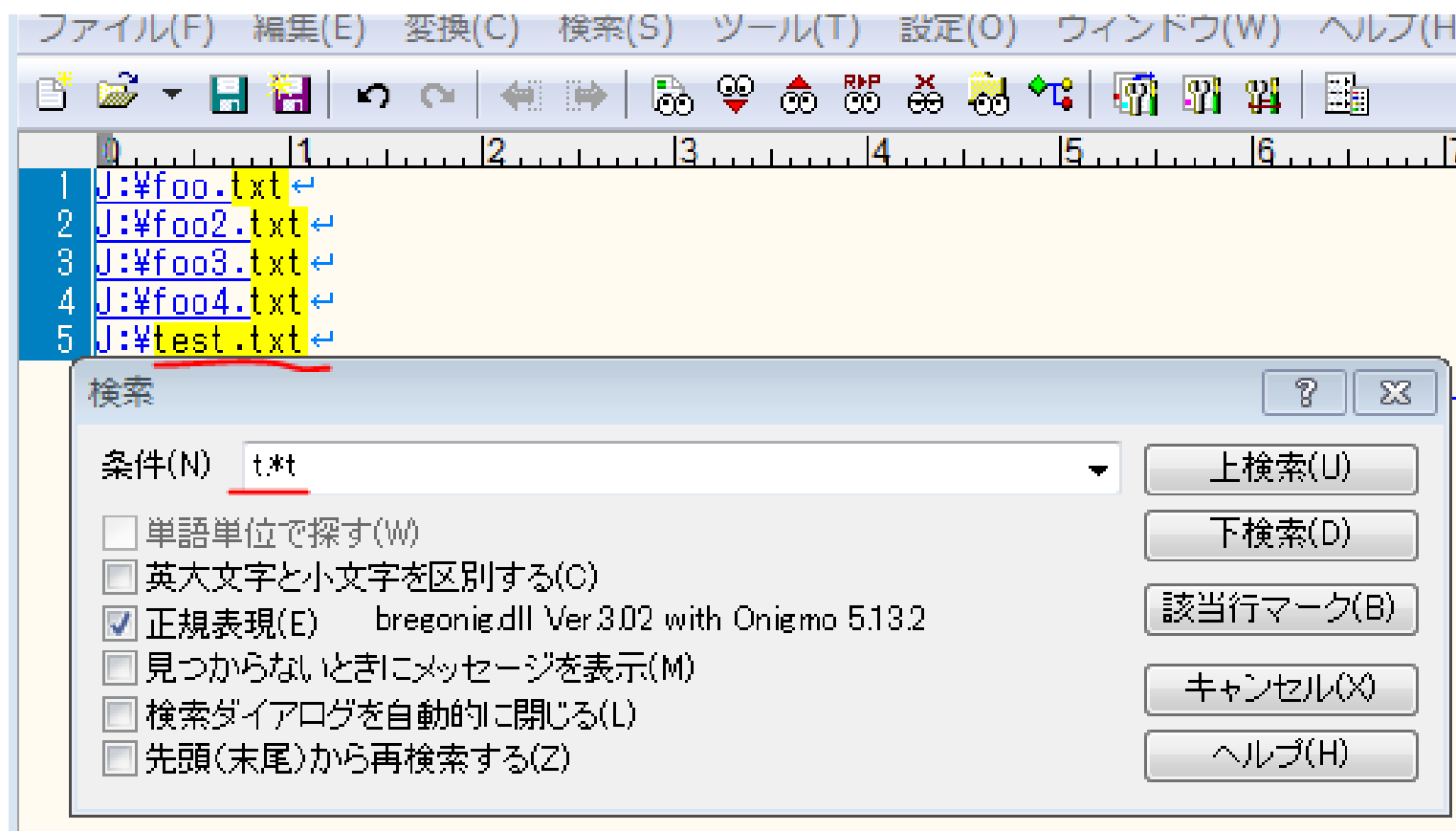


失敗しない為には

- 複数の抽出条件を指定して絞り込みたい時
↓
- 1つの条件で絞り込んだ結果をファイルへ保存する
↓
- 保存したファイルを使いまた絞込む
- 正規表現には「方言」があるのでネット等で調べて使用すること

正規表現の基本は【最長一致】

`t.*t` → `test.txt` (最後の`t`にマッチ)



基本動作【最長一致】

最後の 8 にマッチ

1					
2	67626:2015/11/26	00:28	27,046	DropboxUpdate.log-2015-11-25-15-28-00-193-9564-finished	↵
3	67627:2015/11/26	00:28	49,678	DropboxUpdate.log-2015-11-25-15-28-17-400-9884-finished	↵
4	67628:2015/11/26	00:28	3,526	DropboxUpdate.log-2015-11-25-15-28-17-446-9564-finished	↵
5	67629:2015/11/26	01:28	22,818	DropboxUpdate.log-2015-11-25-16-28-00-197-8084-finished	↵
6	67630:2015/11/26	02:28	20,594	DropboxUpdate.log-2015-11-25-17-28-00-120-448-finished	↵
7	67631:2015/11/26	03:28	20,762	DropboxUpdate.log-2015-11-25-18-28-00-330-1612-finished	↵
8	67632:2015/11/26	04:28	20,914	DropboxUpdate.log-2015-11-25-19-28-00-223-10188-finished	↵
9	67633:2015/11/26	05:28	27,046	DropboxUpdate.log-2015-11-25-20-28-00-268-1888-finished	↵
10	67634:2015/11/26	05:28	49,678	DropboxUpdate.log-2015-11-25-20-28-46-974-7152-finished	↵
11	67635:2015/11/26	05:28	3,526	DropboxUpdate.log-2015-11-25-20-28-47-021-1888-finished	↵
12	67636:2015/11/26	06:28	22,818	DropboxUpdate.log-2015-11-25-21-28-00-123-5448-finished	↵
13	67637:2015/11/26	07:28	20,762	DropboxUpdate.log-2015-11-25-22-28-00-276-8600-finished	↵
14	67638:2015/11/26	08:28	20,762	DropboxUpdate.log-2015-11-25-23-28-00-186-5572-finished	↵
15	67639:2015/11/26	09:28	20,762	DropboxUpdate.log-2015-11-26-00-28-00-068-6444-finished	↵
16	67640:2015/11/26	10:28	27,278	DropboxUpdate.log-2015-11-26-01-28-00-300-5332-finished	↵
17	67641:2015/11/26	10:28	50,006	DropboxUpdate.log-2015-11-26-01-28-57-084-4076-finished	↵
18	67642:2015/11/26	10:28	3,566	DropboxUpdate.log-2015-11-26-01-28-57-115-5332-finished	↵
19	67643:2015/11/26	11:28	22,818	DropboxUpdate.log-2015-11-26-02-28-00-270-9632-finished	↵
20	67644:2015/11/26	12:28	20,762	DropboxUpdate.log-2015-11-26-03-28-00-285-8148-finished	[EOF]

置換

置換前(N)

置換後(P)

☐ クリップボードから貼り付ける(T)
☐ 単語単位で探す(W)
☐ 英大文字と小文字を区別する(O)
☒ 正規表現(E)
breonig.dll Ver.3.02 with Onigmo 5.13.2
☐ 「すべて置換」は置換の繰返し(I)
☐ 見つからないときにメッセージを表示(M)
☐ 置換ダイアログを自動的に閉じる(L)
☐ 先頭(末尾)から再検索する(Z)

置換対象

☒ 選択文字(O)
☐ 選択始点(1)挿入
☐ 選択終点(2)追加

範囲

☐ 選択範囲(S)
☒ ファイル全体(O)

上検索(U)

下検索(D)

該当行マーク(B)

置換(R)

すべて置換(A)

キャンセル(X)

ヘルプ(H)

【最短一致】は → ? を付加 最初の 8 にマッチ

1			
2	87626:2015/11/26 00:28	27,046	DropboxUpdate.log-2015-11-25-15-28-00-193-9564-finished
3	87627:2015/11/26 00:28	49,678	DropboxUpdate.log-2015-11-25-15-28-17-400-9884-finished
4	87628:2015/11/26 00:28	3,526	DropboxUpdate.log-2015-11-25-15-28-17-446-9564-finished
5	87629:2015/11/26 01:28	22,818	DropboxUpdate.log-2015-11-25-16-28-00-197-6084-finished
6	87630:2015/11/26 02:28	20,594	DropboxUpdate.log-2015-11-25-17-28-00-120-448-finished
7	87631:2015/11/26 03:28	20,762	DropboxUpdate.log-2015-11-25-18-28-00-330-1612-finished
8	87632:2015/11/26 04:28	20,914	DropboxUpdate.log-2015-11-25-19-28-00-223-10188-finished
9	87633:2015/11/26 05:28	27,046	DropboxUpdate.log-2015-11-25-20-28-00-268-1888-finished
10	87634:2015/11/26 05:28	49,678	DropboxUpdate.log-2015-11-25-20-28-46-974-7152-finished
11	87635:2015/11/26 05:28	3,526	DropboxUpdate.log-2015-11-25-20-28-47-021-1888-finished
12	87636:2015/11/26 06:28	22,818	DropboxUpdate.log-2015-11-25-21-28-00-123-5448-finished
13	87637:2015/11/26 07:28	20,762	DropboxUpdate.log-2015-11-25-22-28-00-276-8600-finished
14	87638:2015/11/26 08:28	20,762	DropboxUpdate.log-2015-11-25-23-28-00-186-5572-finished
15	87639:2015/11/26 09:28	20,762	DropboxUpdate.log-2015-11-26-00-28-00-068-6444-finished
16	87640:2015/11/26 10:28	27,278	DropboxUpdate.log-2015-11-26-01-28-00-300-5332-finished
17	87641:2015/11/26 10:28	50,006	DropboxUpdate.log-2015-11-26-01-28-57-084-4076-finished
18	87642:2015/11/26 10:28	3,566	DropboxUpdate.log-2015-11-26-01-28-57-115-5332-finished
19	87643:2015/11/26 11:28	22,818	DropboxUpdate.log-2015-11-26-02-28-00-270-9632-finished
20	87644:2015/11/26 12:28	20,762	DropboxUpdate.log-2015-11-26-03-28-00-285-8148-finished

置換

置換前(N)

置換後(P)

☐ クリップボードから貼り付ける(T)
☐ 単語単位で探す(W)
☒ 英大文字と小文字を区別する(C)
☒ 正規表現(E)
 bregonig.dll Ver 3.02 with Onigmo 5.13.2
☐ 「すべて置換」は置換の繰返し(D)
☐ 見つからないときにメッセージを表示(M)
☐ 置換ダイアログを自動的に閉じる(L)
☐ 先頭(末尾)から再検索する(Z)

置換対象

☒ 選択文字(O)
☐ 選択始点(1)挿入
☐ 選択終点(2)追加

範囲

☐ 選択範囲(S)
☒ ファイル全体(O)

上検索(U)

下検索(D)

該当行マーク(B)

置換(R)

すべて置換(A)

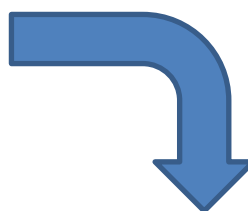
キャンセル(X)

ヘルプ(H)

一括でフォーマットを変更(置換)

ファイル(F) 編集(E) 変換(C)

1 "1991年,A,値5" ←
2 "1992年,B,値15" ←
3 "1993年,B,値555" ←
4 "1994年,C,値54321" ←
5 "1995年,C,値5987654" ←
[EOF]



ファイル(F) 編集(E) 変換(C) 検索(S) ツール(T)

1 {"year": 1991, "name": "A", "value": 5} ←
2 {"year": 1992, "name": "B", "value": 15} ←
3 {"year": 1993, "name": "B", "value": 555} ←
4 {"year": 1994, "name": "C", "value": 54321} ←
5 {"year": 1995, "name": "C", "value": 5987654} ←
[EOF]

() → は値をグループ化
\$1 → は最初のグループ化の値

置換

置換前(N) "(*)年,(*)値(*)"

置換後(P) {"year": \$1,"name": "\$2","value": \$3}

☐ クリップボードから貼り付ける(T)
☐ 単語単位で探す(W)
☐ 英大文字と小文字を区別する(O)
☒ 正規表現(E)
bregonig.dll Ver.302 with Onigmo 5.13.2

☐ 「すべて置換」は置換の繰返し(I)
☐ 見つからないときにメッセージを表示(M)
☐ 置換ダイアログを自動的に開じる(L)
☐ 先頭(末尾)から再検索する(Z)

置換対象

☒ 選択文字(O)
☐ 選択始点(1)挿入
☐ 選択終点(2)追加

範囲

☐ 選択範囲(S)
☒ ファイル全体(O)

上検索(U)
下検索(D)
該当行マーク(B)
置換(R)
すべて置換(A)
キャンセル(X)
ヘルプ(H)

【実現したいこと】 **青文字**部分だけを取り出して → フォーマットを変える

'1991 年,A,値 5' というデータを → {"year": 1991, "name": "A", "value": 5} にしたい

【置換前】 取り出したい青文字部分を () で囲みグループ化する (赤文字がデータ区切り記号になる)

“(·*)年,(·*),值(·*)”

【置換後】 グループ化した青文字データを使い新しいフォーマットに変更する

```

{"year": $1, "name": "$2", "value": $3}

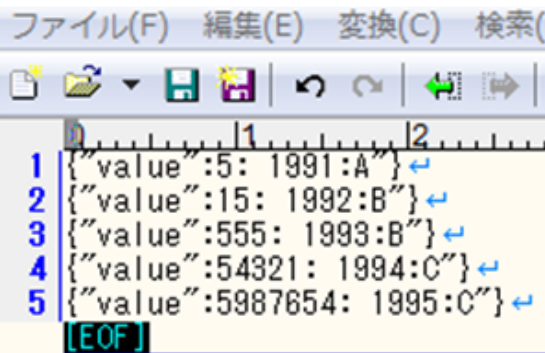
```

【応用例】

```

{"value":$3:$1:$2}

```



以上